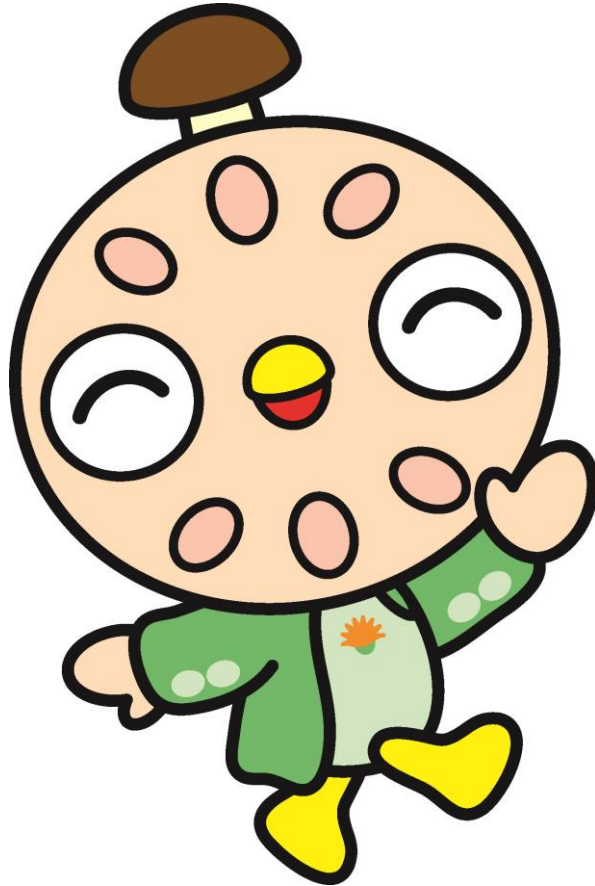


長南町認知症ケアパス



長南町役場 福祉課

「認知症ケアパス」は認知症に対する不安や悩みなどの軽減が

図れるように認知症の進行に合わせて受けられる長南町の

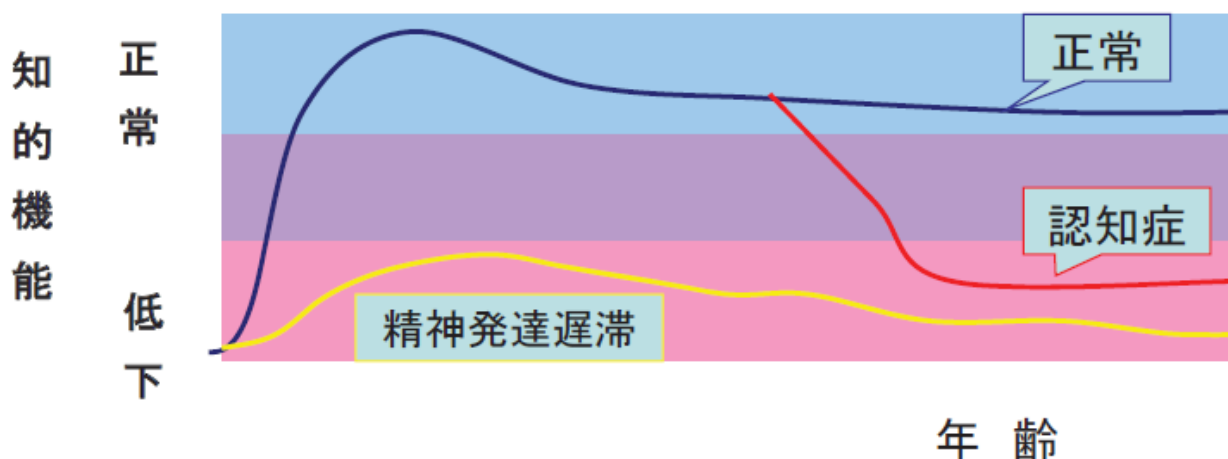
さまざまなサービスやその他の支援の情報を

わかりやすくまとめたものです。

認知症について

◎認知症とは？

一旦正常に発達した知的能力が低下してしまい、物忘れや自分の周囲の状況がわからない、理解・判断力の低下などがあるために、日常生活・社会生活に支障をきたしている状態です。



■ 認知機能障害

もの忘れ、自分の周囲の状況がわからない、理解力の低下、判断力の低下



- 日常生活、社会生活上の支障がある
→生活障害の存在

認知症の早期発見

◎認知症は早期の発見が大切です

認知症は早期の発見と治療がとても大切な病気です。完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対処をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができます。

◎早期発見の3つの良いこと

1 早期治療で改善も期待できる

認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し治療を始めることで、改善が期待できるものもあります。

2 進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによっては、その進行のスピードを遅らせることができます。

3 事前にさまざまな準備ができる

症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

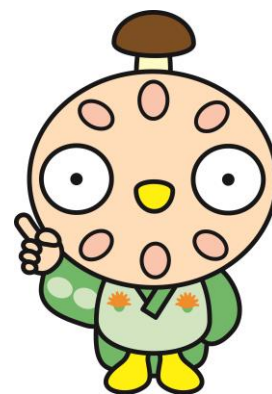
認知症チェックリスト

◎こんなことはありませんか？

認知症による変化は、本人よりも周囲の人が気づきやすいことも多いです。認知症に気づききっかけとして身近な家族などと一緒にチェックできると良いです。

～チェックしてみよう～

- 整理整頓ができなくなった
- 1人で買い物や金銭管理ができない
- 自分で服薬管理ができない
- 電話の対応や訪問者の対応ができない
- 食事が1人で取れなくなった。食事の回数が減った
- 痩せたり太ったり、急激な体重の増減がみられる
- 同じ服をずっと着ていたり、逆に何度も着替えたりする。季節に合った服装ができない
- 昼間に寝ていることが多い。または夜間不眠・不穏である
- 意欲の低下がみられる
- 同じことを何度も話したり聞いたりする
- 約束事を覚えていない
- 5分前に聞いた話や電話の内容、人の名前を思い出せない
- 冷蔵庫の中に同じものが多くある
- 入浴しないなど、不潔である



認知症についての相談

長南町包括支援センター (長南町役場福祉課内)

高齢者の方の総合相談窓口です。

認知症以外の相談にも対応します。

長南町包括支援センター

電話 0475-40-5901

(月～金曜日 8:30～17:15)



認知症疾患医療センター

認知症についての鑑別診断、専門医療相談、認知症に伴う行動及び心理症状への初期対応合併症への対応などを行う医療機関です。

浅井病院 電話 0475-58-1411 (月～金曜日 10:00～16:00)

千葉県若年性認知症専用相談窓口

若年性認知症コーディネーターが配置され、若年性認知症の人に関わるさまざまな支援を行っています。

千葉県若年性認知症専用相談窓口

電話 043-226-2601(千葉大学医学部附属病院内)

(月・水・金曜日 9:00～15:00 ※祝日・年末年始を除く)

電話相談

若年性認知症コールセンター (全国若年性認知症支援センター)

電話 0800-100-2707

(通話無料 月～土曜日 9:00～15:00)

ちば認知症相談コールセンター

プッシュ回線の固定電話からは 局番なしの #7100

ダイヤル回線、光電話、IP 電話、携帯電話、県外からは

電話 043-238-7731

月・火・木・土曜日(祝日・年末年始除く)

10:00～16:00(※面接相談予約制)



認知症の進行とその症状に応じた支援体制

認知症を引き起こす疾患や身体状況などにより、症状に個人差はあります。表についてわからないことがあれば、長南町包括支援センター(☎0475-40-5901)にご連絡ください。

認知症の人の生活機能障害	自 立		初 期		中 期		後 期		
	健康	軽度認知障害(MCI)	認知症の疑い	認知症はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常的に手助け・介護が必要	常に介護が必要		
	本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・最近忘れっぽくなってきた ・買い物やお金の管理など少し不安がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・物忘れが増えてきた ・同じ話を何度も繰り返す 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じものを何回も買う ・火の消し忘れ ・置き忘れ、紛失が多くなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物やお金の管理などこれまでできたことにミスが増える ・薬の飲み忘れ、飲み間違えが増える ・入浴を嫌がる ・昼夜逆転 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えや食事、トイレなどがうまくできない ・入浴に介助が必要 ・時間・場所・季節がわからなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるコミュニケーションがとれなくなる ・飲み込みが悪くなり、食事介助が必要になる ・歩行が不安定 		
認知症の人や家族を支援する体制	生活上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を保ち、趣味を楽しみ、ボランティア活動や地域の活動をする ・地域との関わりを大切にする ・かかりつけ医をもつ ・家族の連絡先を分かるようにしておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとを相談できる人を探す ・専門医を受診し、検査を受ける ・介護保険サービスの利用を検討する ・火のもとに気を付け、火災報知器をつけたり、電磁調理器に変えたりすることを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療や介護のどんなサービスがあるかを知って、サービスを活用する ・お金の管理や契約を考える ・これからの住まいを考える ・自宅に閉じこもらないように、外出の機会をつくり楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活全般の支援を受ける ・安全な環境を整える 				
	相談	長南町包括支援センター(随時)		認知症高齢者をかかえる家族交流会(年3回)		ちば認知症相談コールセンター			
	医療	かかりつけ医		認知症サポート医			認知症疾患医療センター		
		認知症初期集中支援チーム		訪問看護	訪問薬剤師	訪問診療	訪問歯科診療		
	介護予防	シルバー人材センター ボランティア活動							
		老人クラブ サークル活動 地域の集い いきいきサロン 介護予防教室							
	介護	総合事業(訪問型サービス・通所型サービス)		訪問介護・通所介護等の介護保険サービス					
	見守り	いきいきサロン グランドゴルフ等の地域活動 (参加者同士の見守り)							
		民生委員 近隣住民 認知症サポーター							
		高齢者見守りネットワーク(金融機関、郵便事業者、電気・ガス・水道等の事業者による見守り)							
緊急通報システム									
生活支援	給食サービス								
住まい	認知症対応型生活介護(グループホーム)		介護保険施設						

